

## 全国胃癌登録に関する研究

### 1. 研究の対象

2012年1月1日から2025年3月31日までに当院で胃癌に対する内視鏡治療や手術を受けられた患者さん

### 2. 研究目的・方法

わが国の胃癌の罹患数は、年間約13万人と推定され、各種臓器癌の中で第2位であり、人口の高齢化に伴い増加しています。死亡率は徐々に低下しているものの、肺癌、大腸癌に次いで第3位を占めており、胃癌の克服は依然として重要な課題となっております。日本胃癌学会は胃癌に関する研究ならびに診療の進歩と普及を目的として1961年に前身の胃癌研究会が発足し、現在では胃癌の診療および研究に携わる4500名の会員を擁する学術団体です。本学会が行っています全国胃癌登録は、1963年から50年以上にわたり続けられており、全国の主要施設からの胃癌患者さんに関する詳細なデータを収集して解析することにより、本邦の胃癌の経年的な病態の変化、診断法、治療法の進歩とその成績などを明らかにしてきました。

胃癌の生物学的特性などの基礎的問題の解明と、現時点での最良の診療指針を探求するとともに胃癌に関する研究ならびに診療の進歩・普及を図ることを目的としています。

研究期間は2020年2月1日から2025年3月31日です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、治療日、年齢、胃癌の部位、治療内容、治療の偶発症、転帰などです。

### 4. 外部への試料・情報の提供

患者さんごとに調査項目について内容を入力したうえで、まとめて当学会の登録委員会事務局登録センター(新潟大学医歯学総合病院 医療情報部)に提供します。登録センターは各施設から送付された登録ファイルを収集し、一括して登録します。登録センターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で送付します。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

日本胃癌学会・登録委員会

委員長 掛地吉弘 神戸大学大学院 食道胃腸外科

委員 赤澤宏平 新潟大学医歯学総合病院 医療情報部 他13名

参加施設 約110施設予定(日本胃癌学会ホームページ <http://www.jgca.jp/>で公開予定)

## 6. データの保管期間について

本研究はわが国の胃癌についての疫学的情報を発信するため、継続されるものであり、情報の廃棄の時期は設定されません。

患者さんが本研究に関するデータ使用の取り止めを申し出された際、本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄致します。

## 7. 集計結果の公開

本登録は「日本胃癌学会全国胃癌登録」として日本胃癌学会のホームページで登録事業の実施を公開します。患者さんが特定できる情報は利用しません。

## 8. お問い合わせ先

千葉県柏市柏の葉6-5-1

TEL04-7133-111

国立がん研究センター東病院消化管内視鏡科 矢野友規

研究代表者：掛地吉弘 神戸大学大学院医学研究科 外科学講座食道胃腸外科学分野

-----以上